

# 市民のいのちと暮らしを守る年に

## 2021年新春



# 議会が追加提言

## 新型コロナ対策で

12月15日に行われた市議会  
新型コロナ対策特別委員会で  
は、新型コロナ対策の追加提言  
が取りまとめられ、18日に市の  
高橋理事を通して市長に提出さ  
れました。  
対応が少々遅れましたが、特  
別委員会としては4回目の提言  
となります。市としては、これ  
ら対策をすぐに実行してもらい  
たいものです。

### 提言書の主な内容

- 1 インフルエンザ流行期における受診方法の周知・・・県の取扱いが変更になった点などを含め、インフルエンザ流行期に向けて更に周知を強化すること。
- 2 子育て世帯への支援・・・2020年4月27日現在の母子手帳所持者に市独自の特別定額給付金を支給すること。
- 3 市内事業者への支援継続及び新たな補助金の創設・・・「プレミアム付商品券発行事業補助金」の継続、「事業者応援給付金」(20～50%売上減が対象)の継続、「中小企業者チャレンジ応援事業補助金」の対象事業者拡充及び継続など
- 4 執行率の低い補助金等の周知の徹底や制度設計の見直し・・・事業者への周知の徹底・広報の強化、原因分析と制度設計などの見直しを進めること。

## 今年は国の政治、市政のあり方が問われます

思いもかけない新型コロナ感染症のまん延で世界中がたいへんな事態となっています。新しい年を迎えたので、PCR検査の対象を福祉、医療従事者などにひろげるなど、打つべ

き手を打って、いつときも早く収束させたいものです。

新型コロナ感染症の広がり、政治をも動かしています。公共施設では、学校であろうが福祉施設であろうが、安心して使える余裕のある空間が求められています。これまでの財政効率だけを重視した改革はもはや通用しなくなりました。

しかし、菅政権は相変わらず財界や

一部の富裕層などのことを考えた政治を行っています。ウソと情報隠し、弱いものを助けない政治はもう御免です。市民と野党の共同政権をぜひ実現させたいものです。

市政では、秋には大きな政治戦を控えています。いまの時代に必要なのは、市政でも市民のいのちと暮らしを守る政治です。日本共産党議員団は、今年も全力で頑張ります。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.688 2020年12月27日・2021年1月3日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

### 上越保健所管内感染症発生状況

(12月18日現在)

PCR検査実施件数	3,248件(前週+62)
感染症患者数	25人(上越市内21人)
陽性率	0.77%